

平成 31 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む</li> <li>・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く</li> <li>・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う「調査のたいしょう（対象）」</li> </ul>
算数/数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる</li> <li>・図形の特徴を理解している</li> <li>・伴って変わる 2 つの数量を目的に応じて見いだすことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算のきまりを他の問題にも適用して考える</li> <li>・示された図形の面積の求め方等、解答に至る過程や理由について説明する</li> </ul>

質問紙	自己有用感も将来の夢や目標も 9 割近くの子がしっかりと持っている。はじめは絶対いけないと考えられる子の割合が高まっている。毎日 10 分以上読書に当てている子が 6 割いる一方、新聞を全く読まない子が 6 割いる。
-----	--

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

語彙を豊かにすることも含め、読書や新聞などを読むことを通し、国語の授業だけでなく多くの言葉や文字に触れさせ、それらの意味にも目を向けさせながら、国語力を伸ばしていきたいと考えます。算数では、既習の内容を広く他にも活用できないかという視点をもたせ、言語活動をより活発に行うことで、数学的思考が深められるように学び合いを推し進めます。家庭生活や学習環境の改善とともに人間関係を密にし、自己有用感の向上努力を継続していきたいと思ひます。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

毎日、新聞を読む子の平均正答率と全く読まない子の比率は、1 割近く差が見られます。文章を読み取る力を育成するためにも、読書や、新聞に興味を持たせる働きかけが必要です。併せて学校としては引き続き、体力作りとして、外遊びや運動も奨励していきたいと思ひますので、ご家庭でもこうした機会をよりつくっていただければと思ひます。